



宇久中だより2017

佐世保市立宇久中学校 学校通信

(平成29年8月1号)

文責 校長 田雑 健

平成29年8月9日(水)発行

学校教育目標 : ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像 : 素直で心豊かな生徒 ・ 自ら考え、主体的に学ぶ生徒 ・ 強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行 : 心のこもったあいさつをする 授業に集中する 生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う 清掃活動に力を入れる

「戦後」の持つ意味

6月29日の平和学習会を終え、そして今日8月9日を迎えました。長崎県では、8月9日を「県民祈りの日」と定め、原爆犠牲者のご冥福をお祈りするとともに、恒久平和への誓いを新たにすると位置付けています。

毎年8月になると、よく「戦後〇〇年」という表現を耳にします。これは、この「〇〇年」の間、我が国は少なくとも対外的な戦争には関わらず、国内での紛争もなかったということを意味します。戦火を交えることなく、平和に過ごすことができたということは実に尊いことです。

しかし、世界中を見回してみると、武力紛争、内戦いろいろと名称は違っていても、現実には銃弾が飛び交い、多くの人が被害にあっているという国や地域が多くあります。そんな中、「戦後〇〇年」という表現を使えることのすばらしさをもう一度考えてほしいと思います。

平和を維持していくことには、その方法をはじめとして様々な考え方・意見があります。ここでは次の言葉をあげて、今後の皆さんの考える材料にしてほしいと思います。

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない。

お互いの慣習や生活を知らないことは、人類の歴史を通じて、世界の諸国民の間の疑いと不信の共通の原因となった。

(1945年11月 ユネスコ憲章前文より)

何事も計画的に



長い長いと思っていた夏休みも今日で折り返し。計画通り学習は進んでいますか。授業の予習・復習をしないでいい夏休みは今までの振り返りをする絶好の機会です。

宿題に追われるのではなく、むしろ早めに宿題を終え、自分の弱点補強ができるようにがんばっていきましょう。

自分の身は自分で守る

夏休みに入る前に安全面、健康面、そして不審電話などへの注意事項を挙げましたが、その後大丈夫でしょうか。

健康面については時間に余裕がある今の時期に病院に出かけ、治療に努めましょう。

体験活動も大切ですが、くれぐれも海で山で道路で危険な行為をしないこと！

安全第一です。



